

平成 31 年度 (2019 年度)

日田市埋蔵文化財年報



史跡ガランドヤ古墳

北西上空より史跡地を望む (大分県日田市大字石井)

発刊にあたって

日田市には、長い歴史と伝統に育まれた文化財が数多く残されています。

市では、これら貴重な文化財を市民共有の財産として後世に永く伝えていくため、その保存と継承、活用に努めております。

埋蔵文化財においては、その存在及び取り扱いについての周知を行い、埋蔵文化財の保存を図るとともに、発掘調査などで得られた日田市の歴史や文化についての情報を、より多くの市民の方々へ発信するよう努めているところです。

さて、平成 31 年度には、各種開発に伴い失われる埋蔵文化財に対し記録保存のための発掘調査を実施したほか、国指定史跡の確認調査や、県指定史跡の災害復旧工事や重要文化財の保存修理工事に伴う発掘調査も実施しております。

本書は、この日田市での 1 年間の埋蔵文化財保護行政の概況をまとめたものであります。

最後になりますが、埋蔵文化財の調査及び普及・啓発にご指導・ご協力を賜りました関係者の皆様方に、心よりお礼を申し上げます。

令和 3 年 3 月

日田市教育庁文化財保護課長 吉田 博嗣

例 言

1. 本書は、平成 31 年度に日田市教育委員会が行った埋蔵文化財保護事業の概要をまとめたものである。
2. 発掘調査における遺物・図面・写真類等の資料については、日田市埋蔵文化財センターに保管・展示している。
3. 表紙写真は、整備工事中の国指定史跡ガランドヤ古墳の、裏表紙は、吹上遺跡 12 次調査地の空中写真である。
4. 本書に掲載した図表については、各遺跡の概要などに掲載した図等は各執筆担当者が、発掘調査位置図は上原が作成し、各種表については上原・行時・今田が作成した。
5. 本書の執筆について、それぞれの文末にその執筆者名を記している。
6. 編集は、今田が行った。

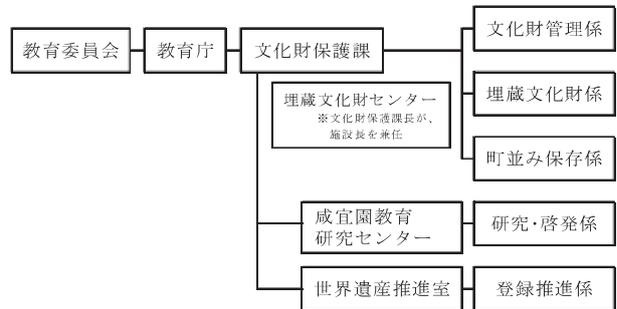
< 目 次 >

発刊にあたって

I 埋蔵文化財調査事業	1
（1）埋蔵文化財調査の概要	1
（2）発掘調査・確認調査の概要	6
（3）その他	10
II 史跡等整備事業	11
III 普及・啓発事業	13
（1）埋蔵文化財センター運営事業	13
（2）普及啓発事業	15
IV 史跡の災害復旧	18
V その他	19

組 織

日田市における平成 31 年度の文化財保護部局の行政組織および文化財保護課埋蔵文化財係の体制は、以下のとおりである。



[埋蔵文化財係]

主幹（総括）	安岡 佳克	埋蔵文化財・史跡・埋蔵文化財センター全般
(7月～)主幹	河津 秀樹	埋蔵文化財の普及・啓発、小迫辻原遺跡の管理、係の予算調整・管理ほかを担当
主 査	今田 秀樹	発掘調査（予備調査・本調査など）の調整、民間開発発掘受託、史跡成宜園跡保存整備事業ほかを担当
主 査	行時 桂子	埋蔵文化財センター運営事業、報告書作成事業、ガランドヤ古墳群保存整備事業、重要文化財大分県吹上遺跡出土品展示、史跡廣瀬淡窓旧宅及び墓保存整備事業（委員会のみ）ほかを担当
主 査	長 祐一郎	埋蔵文化財センター管理費・作業員賃金等の支払い事務ほかを担当
(4月のみ)主査	水嶋 武彦	—
主 任	上原 翔平	埋蔵文化財事前審査、市内遺跡等調査事業、収蔵資料の保存・整理・活用、小迫辻原遺跡報告書作成ほかを担当
臨時職員	樋口 かおり	過去の埋蔵文化財事前審査等事例の地理情報システムへの反映作業、係の庶務ほかを担当
嘱託職員	塩川 勇二郎	埋蔵文化財センター管理、来館者対応ほかを担当

I 埋蔵文化財調査事業

(1) 埋蔵文化財調査の概要

◇埋蔵文化財の対応状況(表1・5)

平成31年度(令和元年度)に実施した本発掘調査は、民間開発に伴うものが2件、個人住宅建築に伴うものが1件、文化財公開施設(国指定重要文化財草野家住宅)の保存修理工事に伴うものが1件、そして国指定史跡「咸宜園跡」の重要遺跡確認調査が1件の計5件であった。(表1)

番号	遺跡名	所在地	事業主体	調査原因	開発面積(m ²)	調査面積(m ²)	調査期間	費用負担	調査担当者	概要掲載頁
1	町ノ坪遺跡5次調査	大字求来里	個人	個人住宅新築工事	186.04	36	0402~0408	国庫補助	上原	6頁
2	日田条里遺跡 柿ノ木町地区	田島本町	民間	店舗新築工事	242.18	150	0325 0404~0422	事業主	若杉*・今田 *平成30年度担当	6頁
3	史跡咸宜園跡	淡窓2丁目	市	重要遺跡確認調査	—	470	0821~0330	国庫補助	今田	11頁
4	吹上遺跡12次調査	大字小迫	民間	鉄塔建設工事	1,950.50	120	1207~0303	事業主	行時	7頁
5	城下町遺跡7次調査	豆田町	個人	国重要文化財 草野家住宅保存修理工事 (個人住宅等)	485.18	160	0214~0326 次年度継続	国庫補助	上原	8頁

表1 発掘調査一覧表

各種開発に伴う、埋蔵文化財の所在の有無に関する文書照会及び文化財保護法の規定による届出ないし通知の受付は240件であり、うち民間開発が171件、公共事業が69件であった。(表2~4)

民間開発171件のうち、個人住宅の新築や増改築工事、建売住宅や貸家建築、集合住宅建築や宅地造成工事といった居住空間に関するものが121件と全体の70%以上を占めていた。個人住宅など居住空間に関する開発が高い割合を示すのは例年のことであり、日田市という地域的・経済的な位置を物語るものであろう。

公共事業に関しては大規模な開発工事は窺えない。代わって、平成29年の水害に伴う災害復旧や改良工事がまだまだ終わっていない状況が見て取れる。

こういった開発に伴う届出等に伴い、市教育委員会が実施した予備調査(確認調査・試掘調査)は29件であり、その内訳は民間開発に伴うものが26件、公共事業に伴うものが3件であった。(表5)

なお、この年度における日田市での埋蔵文化財保護の状況変化としては、「建築協議書(建築敷地調査書)」の様式変更が挙げられる。

市域において建築物を建築する際には、日田市環境保全条例第17条第1項の規定により、あらかじめ協議することとなっている。この建築協議に関しては、これまでも必要に応じて市文化財保護課と協議することとなっていたが、

受付日	受付番号	開発区分	内容	対象地	開発面積(m ²)	周辺道路名(空白は周知外)	措置等	受付日	受付番号	開発区分	内容	対象地	開発面積(m ²)	周辺道路名(空白は周知外)	措置等
4/4	2019001	民間	太陽光発電所設置工事	大字日高学校2705・2679-1・2700・2710・2715-1・2715-4・2720・2721-1・2722-3・2722-5・2687-2・2687-3、天瀬町女子畑字江良1-1・1-2・1-3・1-4・2-1・2-2・5-1・11・12・13・17・18・19・29-2・37・39・42-2・43-1・43-2・44・45・46-2・47・49-1・51-2・51-3・60・62-1、天瀬町女子畑字江良ノ谷73・74・75・91-1・91-2、天瀬町女子畑字向平154・159・161、天瀬町女子畑字カメガ172・173-1・175-1・176、天瀬町女子畑字灰ノ木260・260-1・263・264・267、268-1・268-2・270・275-1・280・282・283-1・283-2・284、大山西東大山上地頭石1・3-1、大山西東大山上字横井23・23-1・24-1・24-2・26・28-2・30・31 池沼、水路	34,499.00	敦原	工事実施	5/20	2019018	民間	個人住宅新築工事	大字庄手字中4142-2	344.29	—	—
								5/20	2019019	民間	個人住宅新築工事	大字北豆田字ヤノムノ1733-69・1733-52の一部 大字求来里字西7双支88-11・89-8の一部	217.07	—	—
								5/23	2019020	民間	個人住宅新築工事	大字小迫1093-6	256.89	本村	工事実施
								5/27	2019021	民間	個人住宅新築工事	大字高瀬字曾根116-7・116-8	204.50	—	—
								5/28	2019022	民間	個人住宅新築工事	大字高瀬字手崎1270-2	105.00	—	—
								5/30	2019024	民間	集合住宅建築工事	龍山771-1・771-7	468.24	城下町	工事実施
								5/31	2019023	民間	個人住宅新築工事	大字庄手字笠田284-2	95.24	—	—
								6/3	2019025	民間	個人住宅新築工事	上城内町993-1	723.47	慈眼山	予備調査
								6/3	2019026	民間	宅地造成	大字日高字取所823-5・824-1	1,093.00	上井山	工事実施
								6/4	2019027	民間	個人住宅新築工事	三本松二丁目228-1	184.07	灘ヶ木	工事実施
								6/7	2019028	民間	個人住宅新築工事	大字西有田字日面ヶ道76-6・976-10・976-17・976-18	514.67	峰崎	予備調査
								6/12	2019029	民間	個人住宅新築工事	三本松新町717-27	102.61	—	—
								6/12	2019030	民間	携帯電話無線基地局設置工事	大字小野字松山2811-1	9.00	—	—
								6/12	2019031	民間	個人住宅新築工事	大字有田字赤迫985-60 大字求来里字北井隆332-9	293.07	馬形	工事実施
								6/14	2019032	民間	建売住宅新築工事	大字下町字水町768-10	77.84	—	—
								6/17	2019033	民間	店舗新築工事	吹上町1230-3	684.80	日田条里	工事実施
								6/19	2019034	民間	車庫新築工事	城下一丁目33-11	178.47	日田条里	予備調査
								6/19	2019035	民間	事務所新築工事	中本町741-1・742-6・743-2・75-16	612.98	—	予備調査
								6/19	2019036	民間	個人住宅新築工事	大字求来里字青来817-1・817-2 大字求来里字野ノ原1023-1・1023-3・1023-5・1023-3	541.48	青来	予備調査
								6/20	2019037	民間	宅地造成	大字北豆田字扇畑1375・1423-4・1426・1428-1・1428-2・1428-3・1429・1430-1・1432・1433-2・1434・1435-1・1435-3・1436-1・1436-5・1437-3・1431-1・1491-2・1492・1423	2,034.00	—	—
								6/20	2019038	民間	土砂採取	大字西有田字日面ヶ道76-6・976-10・976-17・976-18	5,298.00	赤迫遺跡 堤城跡	—
								6/20	2019039	民間	個人住宅新築工事	三本松新町747-28	70.24	—	—
								6/20	2019055	民間	土砂採取	大字北豆田字扇畑1375・1428-1・1429・1430-1・1491-1・1491-2・1492・1493	—	赤迫遺跡	工事実施
								6/21	2019010	民間	個人住宅新築工事	中城町131	190.45	日田条里	予備調査
								6/21	2019041	民間	個人住宅新築工事	誠和町451	160.45	高瀬条里跡	工事実施
								6/24	2019042	民間	共同住宅新築工事	大字竹田字上深386	1,203.00	—	—
								6/24	2019043	民間	個人住宅新築工事	城下一丁目418-16・418-17	107.78	—	—
								6/25	2019044	民間	個人住宅増築工事	大字日高1041・1041-1	74.68	—	—

表2 受付一覧表(1)

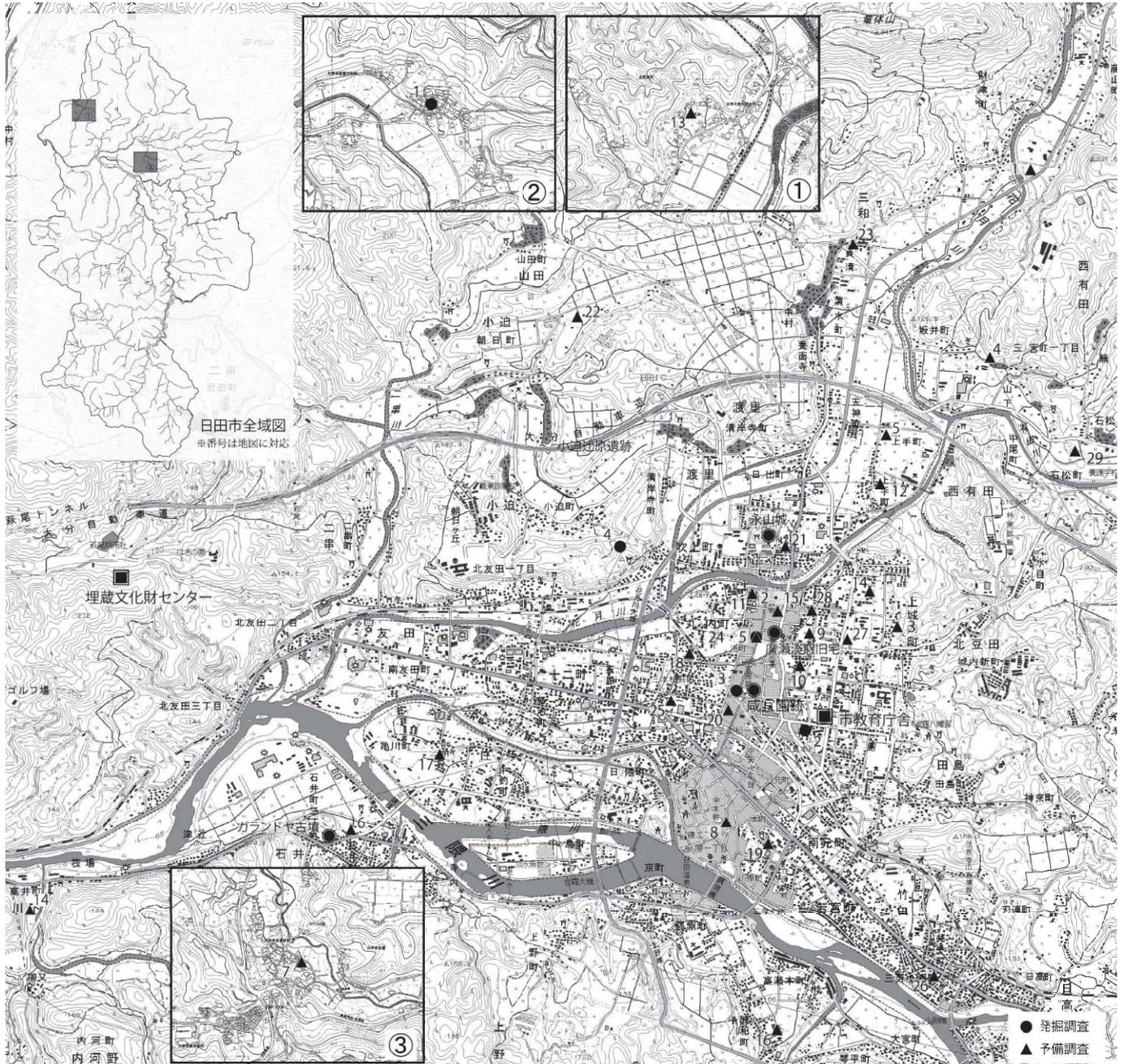
受付日	受付番号	開発区分	内容	対象地	開発面積(m ²)	周知道路名(空白は周知外)	措置等
6/26	2019045	民間	個人住宅新築工事	丸の内町700-9	122.56	城下町 日田条里	予備調査
7/2	2019047	民間	携帯電話無線基地局設置工事	大字羽田字宇尾741	16.00		—
7/2	2019051	公共	大分地方気象台 日田特別地域気象観測所 太陽電池パネル設置待受工事	二本松二丁目3-32	15.00	日田条里	立会調査
7/3	2019052	公共	急傾斜地崩壊対策事業 (県土木土木事務所)	大字日高字法恩寺607-9・ 607-10・607-11・611-4・ 613-2・614-2・614-3・614-4・ 613-5・616-2・617-2・618-2・ 622-2・623-3	976.26	法恩寺山古墳	立会調査
7/4	2019018	民間	駐車場造成工事	大字川下字高宮155	982.00	川下	予備調査
7/4	2019049	民間	個人住宅新築工事	上城内町1125-14	158.90	大波羅	工事実施
7/5	2019046	民間	個人住宅新築工事	大字江手字ノ原548-8	168.93	村前	工事実施
7/5	2019050	民間	携帯電話無線基地局設置工事	大字小山字ノ1064-1	4.00		—
7/8	2019051	民間	事務所・倉庫建設工事	大字渡里字水町1519・1512-2	1,029.71	日田条里	工事実施
7/11	2019054	民間	個人住宅新築工事	大字手字宇原679-3	214.08	村前	工事実施
7/16	2019052	民間	携帯電話無線基地局設置工事	大字高瀬字小川原5663-1	未定		—
7/16	2019053	民間	携帯電話無線基地局設置工事	前津江町柚木志谷962-2	4.00		—
7/19	2019056	民間	遊技設置工事	港町400-1	0.90	城下町 日田条里	工事実施
7/19	2019059	民間	子ども園舎新築工事	大字庄手字松山351-1	535.93		—
7/22	2019057	民間	不動産評価	大字日高字柳町1924-1	1,228.00		—
7/23	2019053	公共	経営体育育成施設整備事業 大肥地区	大字大肥字1527-1・1527-2・ 1522・1526-1・1526-1・ 1526-1・1523・1525-1・ 1521-1・1521-2・1526-1・ 1526-3	9,759.00	大肥吉竹 大肥	予備調査
7/26	2019601	公共	互田地区日田保育園 山録収納庫整備事業	港町400-1	814.60	城下町	工事実施
7/21	2019054	公共	大肥川護岸工事	大字大肥	25,000.00	高野	立会調査
8/2	2019058	民間	集合住宅新築工事	城町一丁目261-3	665.29	城下町 日田条里	工事実施
8/5	2019060	民間	個人住宅新築工事	田島二丁目88-17	210.36	日田条里	工事実施
8/16	2019063	民間	個人住宅新築工事	大字庄手字ノ原548-2	190.01	村前	工事実施
8/16	2019064	民間	個人住宅新築工事	大字庄手字ノ原548-3	206.99	村前	工事実施
8/16	2019065	民間	個人住宅新築工事	大字庄手字ノ原548-7	206.35	村前	工事実施
8/16	2019066	民間	個人住宅新築工事	大字庄手字ノ原530-7	256.20	村前	工事実施
8/16	2019067	民間	個人住宅新築工事	大字庄手字ノ原530-8	117.58	村前	工事実施
8/16	2019068	民間	個人住宅新築工事	大字庄手字ノ原530-9	192.67	村前	工事実施
8/16	2019069	民間	個人住宅新築工事	大字庄手字ノ原530-10	206.43	村前	工事実施
8/20	2019061	民間	個人住宅新築工事	大字十二町字木村625-11	189.81	日田条里	工事実施
8/20	2019070	民間	駐車場造成工事	若宮町675-5	690.00	入籠	工事実施
8/20	2019071	民間	個人住宅新築工事	大字庄手字ノ原548-5	217.27	村前	工事実施
8/20	2019073	民間	個人住宅新築工事	大字小迫字字ノ下101-7	269.17	鍛冶屋廻り	工事実施
8/26	2019072	民間	個人住宅新築工事	藤一丁目184	143.08	城下町	—
8/26	2019062	民間	アパート新築工事	深窓一丁目13-2	594.42	日田条里	予備調査
8/26	2019074	民間	個人住宅新築工事	東町1-21	357.59		—
8/28	2019075	民間	牧場施設・駐車場造成工事	大字高瀬字ミノ3881-1・3885-1	19,385.00		—
9/3	2019076	民間	個人住宅新築工事	大字渡里字本村956-10	228.82	本村	工事実施
9/3	2019077	民間	個人住宅新築工事	大字渡里字本村956-10	228.82	本村	工事実施
9/4	2019078	民間	個人住宅兼事務所新築工事	大字西有田字鏡光寺160-2	546.00	日田条里	工事実施
9/5	2019079	民間	建売住宅新築工事	大字渡里字本村956-8・ 956-10-2	102.35	本村	工事実施
9/6	2019080	民間	カーポート増築工事	大字庄手字ノ原548-6	30.34	村前	工事実施
9/6	2019081	民間	不動産評価	丸の内町11-58	397.06		—
9/9	2019082	民間	デイクア増築工事 (代理人による照会)	南元町245	129.14	入籠	工事実施
9/9	2019083	民間	デイクア増築工事 (施工による届出)	南元町245	129.14	入籠	工事実施
9/10	2019084	民間	集合住宅新築工事	大字友田字ノ約1181-1	1,512.06		—
9/11	2019086	民間	店舗新築工事	大字三和字御前町931-5・931-1	289.07	三和教団	工事実施
9/12	2019085	民間	駐車場造成工事	大字庄手字村前225-1	1,165.00	村前	工事実施
9/20	2019602	公共	豆田上町ボケットパーク・ トイレ新築工事	豆田町76	248.80	城下町	予備調査
9/24	2019087	民間	建売住宅新築工事	大字渡里字水町1512-5	174.44	日田条里	工事実施
9/24	2019088	民間	建売住宅新築工事	田島本町267	268.91	日田条里	工事実施
9/26	2019603	公共	山田市勤労者 総合福祉センター改修工事	大字求来里字西七坂69	5.83		—
9/26	2019089	民間	不動産評価	大字堂尾30-1・30-8	23.17		—
9/30	2019090	民間	個人住宅新築工事	港町495-9	119.24	一丁目 日田条里	工事実施
9/30	2019091	民間	建売住宅新築工事	大字三和字西ノ更2650-5	220.71	三和教団	工事実施
9/30	2019092	民間	動物病院新築工事	大字北豆田字三反田1406-1	917.48	赤道	工事実施
10/2	2019604	公共	市道三郎丸西有田線改築事業	大字庄手字庄手道236-13 大字友田字1801-1・1801-2・ 1800-5・1810-2・ 1810	13,395.00	日田条里	予備調査
10/4	2019093	民間	宅地造成	大字南豆田字三俣477-3	210.89		—
10/4	2019094	民間	個人住宅新築工事	大字南豆田字三俣477-3	235.00	日田条里	予備調査
10/7	2019607	公共	前津江振興局建替事業	前津江町289-5	—		—
10/7	2019098	公共	田中津江振興局解体工事	中津江町柳野3183	—		—
10/7	2019099	公共	旧吉金村住宅解体工事	大字日高1979-4	43.03	吉金	工事実施
10/7	2019610	公共	旧三進住宅解体工事	大字日高935-21	28.05		—
10/7	2019611	公共	旧赤石老人軽作業所解体工事	前津江町赤石1932-1	101.05		—
10/7	2019612	公共	旧園生小学校解体工事	中津江町鶴生3451-2	1,292.00		—
10/7	2019613	公共	旧火葬場解体工事	中津江町柳生3664-2	136.62		—
10/7	2019614	公共	旧五馬狹在所解体工事	天瀬町五馬字2131-2	35.82		—
10/7	2019615	公共	旧大山小学校教職員住宅解体工事	天瀬町合田867	82.21		—
10/8	2019095	民間	公民館新築工事	大字高瀬字字362-1・360-4	464.79		—
10/8	2019096	民間	学院納骨堂・倉庫増築工事	城町二丁目1-51	348.00		—
10/8	2019097	民間	個人住宅新築工事	港町506-6	214.81	一丁目 日田条里	工事実施
10/9	2019098	民間	車庫増築工事	大字高瀬字字ノ下797-1	541.90	高瀬条里	予備調査
10/10	2019099	民間	個人住宅新築工事	中城町132-1	115.93	日田条里	工事実施
10/10	2019100	民間	個人住宅新築工事	大字日高字644-1	57.96		—
10/11	2019101	民間	個人住宅新築工事	大字西有田字二反田88-11	167.78	日田条里	工事実施
10/11	2019616	公共	天瀬総合福祉センター等 複合施設整備事業	天瀬町合田1986-1・1986-2・ 1989-3・1989-4・1992-2・1991-1 大字渡里1137-4・1139-1・1139-2 ・1139-5・1140	6,101.98		—
10/16	2019102	民間	宅地造成	大字高瀬字字362-1・360-4	4,132.00		—
10/16	2019606	公共	旧島本町児童公園トイレ 改築工事	田島本町75	20.67		—
10/17	2019103	民間	個人住宅新築工事	大字花月字彦田189-2・190-2	842.50		—
10/21	2019104	民間	集合住宅新築工事	大字友田字中434-1	1,130.43		—
10/21	2019105	民間	個人住宅新築工事	大字田島字川原698-8	270.12		—
10/21	2019617	公共	元岡地区コミュニティ広場 整備事業	大字渡里1036-1	1,892.00		—
10/21	2019618	公共	JRC日田駅前地下道整備事業	元町54-1・54-37・54-76の一部	56.00		—
10/21	2019619	公共	日田駅前トイレ 取壊・新築工事	田島本町288・289	15.00		—
10/21	2019620	公共	田島第一児童公園トイレ 整備事業	田島一丁目143	15.00	日田条里	予備調査
10/21	2019633	公共	市道下河内日原線改良事業	鶴河内町	—		—

受付日	受付番号	開発区分	内容	対象地	開発面積(m ²)	周知道路名(空白は周知外)	措置等
10/21	2019634	公共	市道日向野大石幹線改良事業	上落留町	—		—
10/21	2019635	公共	市道上手水日線改良事業	伏見町	—		—
10/21	2019636	公共	市道若迫夜尾線改良事業	若迫町	—		—
10/21	2019637	公共	市道原高木線改良事業	内河町	—		—
10/21	2019638	公共	市道坂合線改良事業	前津江町	—		—
10/21	2019639	公共	市道先約線改良事業	天瀬町馬原	—		—
10/21	2019640	公共	市道日代線改良事業	天瀬町湯山	—		—
10/21	2019641	公共	市道古園桜竹線改良事業	天瀬町桜竹	—		—
10/21	2019642	公共	市道下鎌手線改良事業	大山町	鎌手	工事実施	
10/21	2019643	公共	市道山手線改良事業	前津江町大野	—		—
10/21	2019644	公共	市道田ノ口線改良事業	中津江村柳野	—		—
10/21	2019645	公共	市道広門寺若宮線改良事業	東町	入籠	工事実施	
10/21	2019646	公共	市道札町諸留線改良事業	諸留町	—		—
10/21	2019647	公共	市道駅北三芳線改良事業	丸連町	上井手	工事実施	
10/21	2019648	公共	市道小ヶ瀬線改良事業	小ヶ瀬町	—		—
10/21	2019649	公共	市道御幸橋戸口線改良事業	玉川町二丁目	—		—
10/21	2019650	公共	市道小瀬線改良事業	三井町一丁目	—		—
10/21	2019651	公共	市道口ノ出線線改良事業	清水町	三和教団	工事実施	
10/21	2019652	公共	市道坂合線改良工事	前津江町大野外	道の下	工事実施	
10/21	2019653	公共	市道本城線改良工事	天瀬町五馬字	—		—
10/21	2019654	公共	市道北豆田三郎丸線改良工事	吹上町	日田条里	工事実施	
10/21	2019655	公共	市道朝日ヶ丘線改良工事	小迫町	—		—
10/21	2019656	公共	市道平和通り線改良工事	日ノ出町	日田条里	工事実施	
10/21	2019657	公共	市道野郎線線改良工事	大山町鎌手	鎌手	工事実施	
10/23	2019106	民間	個人住宅新築工事	大字渡里字水町1512-8	193.41	日田条里	工事実施
10/28	2019621	公共	当野小学校校舎プール他 解体工事・屋根付広場新築工事	前津江町柚木2194-1	2,474.00		—
10/28	2019622	公共	部会コミュニティセンター 解体工事・新築工事	大山町東大川1127・1157の一部 ・1159の一部	679.00		—
10/29	2019624	公共	前津江町防火水槽設置事業	前津江町大野1188-1・1188-3・ 1190-1	100.00		—
10/29	2019625	公共	上津江町防火水槽設置事業	上津江町川原2397-1・2397-2	100.00		—
10/29	2019626	公共	道の駅せせらぎ福かみつ 施設改修工事	上津江町川原3848-1	—		—
10/29	2019627	公共	三本松水門改修事業	三本松新町762-11地先 三本松新町762-30地先 ～763-4地先	8.00	日田条里	工事実施
10/29	2019628	公共	城内雨水幹線改修工事	大字江手814-14地先 ～821-6地先	222.00	日田条里	工事実施
10/29	2019629	公共	日高汚水幹線改修工事	大字高瀬460-2地先 ～391-1地先	132.30		—
10/29	2019630	公共	高瀬汚水幹線改修工事	大字高瀬460-2地先 ～391-1地先	150.00	高瀬条里	工事実施
10/29	2019631	公共	三本松新町バイパス 建設管理施設工事	三本松二丁目743-1地先～三本松 新町745-4地先	150.00	日田条里 瀬ヶ本	工事実施
10/29	2019632	公共	国道212号バイパス 汚水改修工事	丸山町大字西大川4232-9地先～ 4232-1地先	235.00		—
10/29	2019633	公共	大字渡里字向山545-2・546-2・ 547-2・555-2の一部、 里道	大字渡里字向山545-2・546-2・ 547-2・555-2の一部、 里道	1,185.28	山田原	予備調査
10/31	2019108	民間	個人住宅新築工事	大字西有田字上子48-9	101.02	日田条里	工事実施
10/31	2019109	民間	個人住宅新築工事	元町601-4・596-8、596-11	85.50	入籠	予備調査
11/1	2019112	民間	子ども園舎改築工事	三本松二丁目3-39	1,576.70		—
11/5	2019110	民間	集合住宅新築工事	大字西有田字丸ノ部 96-10の一部・96の1の一部、 大字西有田字登台73-1	899.88	日田条里	工事実施
11/5	2019113	民間	電柱建替工事	大字日高5-13	1.00	城下町	工事実施
11/5	2019114	民間	個人住宅新築工事				

受付日	受付番号	開発区分	内容	対象地	開発面積 (㎡)	周知道路名 (空白は周知外)	措置等
1/23	2019660	公共	農地耕作改善事業 (高尾原地区)	大字日高3171-1・3171-6・3202-1・3201-3・3201-1・3201-3・3171-3・3171-1・3171-5・3199-1・3199-3・3199-4・3199-5・3199-1・3198-2・3198-4・3198-1・3198-4・3196-5・3196-6	16,000.00	高尾原	予備調査
1/23	2019661	公共	農地耕作改善事業 (霜原地区)	天瀬町本城571-2・586・572-2・572-3・572-4・587・587-1・567-2・568-1・568-2・569-1・569-2・570-1・570-2・562-2・569-2・565-1・565-3・564-1・564-2・563・559-2・559-3・559-1・559-5・557-2・557-3・556-2・556-4・588-1	34,500.00		工事実施
1/24	2019146	民間	個人住宅新築工事	中江村合瀬字 之瀬4049-2	670.00	市の瀬	工事実施
1/31	2019147	民間	個人住宅新築工事	大字高瀬字シテ440	455.11	高瀬条里	工事実施
2/4	2019148	民間	個人住宅増築工事	大字有田字赤迫985-9	248.54	馬形	工事実施
2/4	2019149	民間	宅地造成	大字高瀬字藤原230-1・230-4・231-1	2,427.40	銭河	工事計画中止
2/6	2019150	民間	個人住宅新築工事	上城内町1153-1・1160-6	420.00	大波瀬	予備調査
2/7	2019151	民間	太陽光発電設備設置工事	大字鶴河内字堤字5057-181・5057-183	1,324.00		—
2/10	2019152	民間	倉庫新築工事	大字高瀬字千崎ノ上6979-8・6979-9・6979-19・6996-13・7035-2・7037-2・大字高瀬字平原ノ上6909-14・6909-16・6818-2・6919・6919-4・6920-6・6921-12・6921-14・6949-6・6904-13・6904-15・6918-11・6919-3・6920-5・6921-11・6921-13・大字高瀬字下木ノ上6950-3・6950-1・6950-8・6950-6・大字高瀬字千崎1253-91・1253-92・1253-93	219.34	口ヶ原	工事実施

受付日	受付番号	開発区分	内容	対象地	開発面積 (㎡)	周知道路名 (空白は周知外)	措置等
2/13	2019153	民間	事務所・工場・車両置場造成工事	大字西有田字内下の1305-7・1305-8・1310-1・1312-1・1315-1	4,980.00	内ノ下	予備調査
2/13	2019154	民間	個人住宅新築工事	大字三和字29454-1	388.08	龍林寺	工事実施
2/13	2019662	公共	旧鎌手小学校校舎等解体事業	大山町西大字上ノノ5926-3	129.00	鎌手	工事実施
2/14	2019155	民間	防災倉庫新築工事	中本町748-7の一部	175.06	城下町	工事実施
2/14	2019956	公共	急傾斜地崩壊対策事業 (県日土木事務所)	大字日高607-2・611-2・611-3・615-1・615-2・616	317.95	法恩寺山古墳	立会調査
2/19	2019156	民間	携帯電話無線基地局設置工事	天瀬町袋竹字コノ54-9	21.00		—
2/20	2019157	民間	宅地造成	大字友田字其田70・大字友田字裁敷1055-1	9,582.50		—
2/25	2019158	民間	個人住宅新築工事	城町一丁目331-4	144.00	日田条里	工事実施
3/3	2019164	民間	個人住宅新築工事	大字日高字馬場先950-5	170.43	上井手	工事実施
3/4	2019160	民間	個人住宅新築工事	大字求来早字鳥帽ノ1105-6	395.22		—
3/4	2019161	民間	個人住宅新築工事	大字三和字本ノ4687-7	128.60		—
3/5	2019163	民間	個人住宅新築工事	大字渡里字中村228-5・228-6・228-3	363.36	本村	予備調査
3/5	2019159	民間	携帯電話無線基地局設置工事	大字内河野字平林180-1	21.00		—
3/5	2019162	民間	個人住宅新築工事	大字小道字日向1302-1・1300-1	391.57		—
3/11	2019165	民間	寺院施設新築工事	東町549	365.29		—
3/19	2019166	民間	電柱建替工事	大字西有田字内ノ下1305-8	1.00	内ノ下	工事実施
3/19	2019167	民間	個人住宅新築工事	大字日高字馬場先924-2	328.56	上井手	工事実施
3/23	2019168	民間	個人住宅新築工事	大字日高字牧原2440-4	488.99	大部	予備調査
3/23	2019169	民間	個人住宅新築工事	中本町751-6	57.13		—
3/27	2019170	民間	個人住宅新築工事	談恋一丁目8-6	319.56	日田条里	工事実施
3/30	2019172	民間	建売住宅新築工事	大字日高1619-21	121.73	日高	工事実施
3/31	2019171	民間	車庫・倉庫増築工事	大字山田1-3・1-4	335.23	山田原	工事実施

表4 受付一覧表 (3)



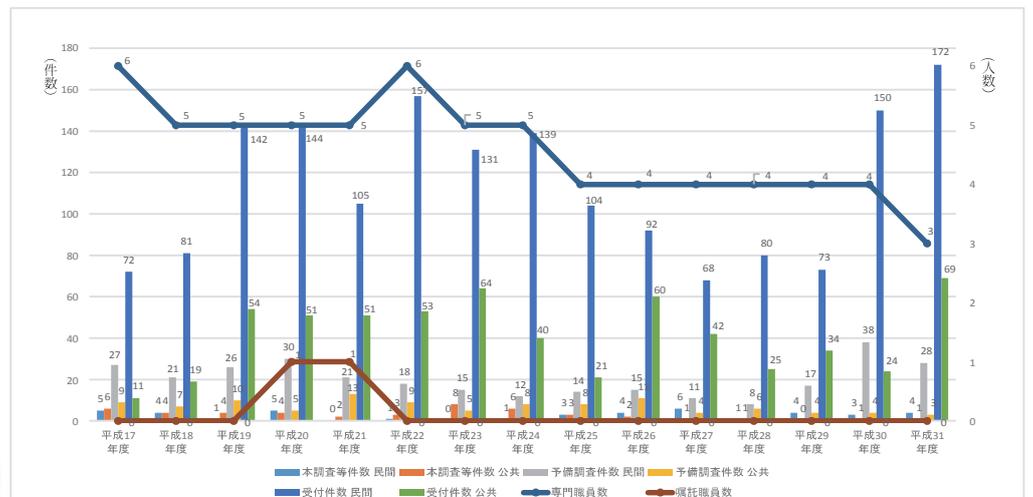
発掘調査位置図 40,000分の1 (図中の●付近の番号は表1に、▲付近の番号は表5に対応する)

番号	遺跡名	開発区分	調査場所	事業目的	開発面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査期間	調査区分	時代	遺構	遺物	受付番号	その後の措置
1	塚原	民間	大字三和字日ノ本 2706-1の一部・2706-4	集合住宅新築工事	1,195.30	7.0	5/15	確認	-	-	-	2018117	工事実施
2	城下町	公共	豆田町 76 番地	豆田上町ポケットパーク整備事業	250.06	9.2	6/26～7/1	確認	江戸時代か	-	陶磁器	2018615	工事実施
3	慈眼山	民間	上城内町 993-1	個人住宅新築工事	129.96	5.0	7/5	確認	不明	溝状遺構 小土坑	-	2019025	工事実施
4	峰崎	民間	大字西有田字日面ヶ迫 976-6・976-10・976-17・976-18	個人住宅新築工事	514.67	11.5	7/8	確認	-	-	-	2019028	工事実施
5	日田条里	民間	大字西有田字長塚 205-2	宅地造成	2,961.77	83.0	7/12～7/16	確認	-	-	-	2019013	工事実施
6	尾園	民間	大字石井字熊ノ下 714-1	食品加工場建設工事	308.26	5.0	7/23	確認	-	-	-	2018111	工事実施
7	着来	民間	大字求来里字着来 817-1・817-2	個人住宅新築工事	2,034.00	6.7	7/24	確認	弥生時代か	柱穴 小土坑	石包丁 黒曜石剥片	2019036	工事実施
8	周知外	民間	中本町 741-1・742-6・743-2・751-16	事務所新築工事	612.98	5.0	7/25	試掘	-	-	-	2019035	工事実施
9	日田条里	民間	城町 1 丁目 334-11	車庫新築工事	77.00	2.0	7/26	確認	-	-	-	2019034	工事実施
10	日田条里	民間	中城町 134	個人住宅新築工事	190.45	4.0	7/29	確認	-	-	-	2019040	工事実施
11	城下町 日田条里	民間	丸の内町 700-9	個人住宅新築工事	122.56	5.0	7/30	確認	-	-	青磁片 土師質土器片	2019045	工事実施
12	日田条里	民間	大字西有田字石ヶ坪 112・114-2	宅地造成	1,195.30	18.0	8/1	確認	-	-	-	2019012	工事実施
13	大肥	公共	大字大肥字迫 1527-1・1527-2・1522・1526-2・1526-4・1528-1・1523・1525-1・1521-1・1521-2・1526-1・1526-3 字竜ヶ鼻 1717-2・1718	経営体育成基盤整備事業 大肥地区	9759.00	50.1	8/7～8/8	確認	-	-	-	2019953	工事実施
14	川下	民間	大字川下字高岩 155	駐車場造成工事	982.00	50.5	8/21	確認	-	-	-	2019048	工事実施
15	城下町	公共	豆田町 76 番地	豆田上町ポケットパーク・トイレ新築工事	251.06	20.35	10/9	確認	江戸時代	石列 礎石か	-	2019602	工事実施
16	高瀬条里	民間	大字高瀬字竹ノ下 797-1	車庫増築工事	541.90	3.6	10/29	確認	-	-	-	2019098	工事実施
17	徳瀬	民間	大字友田字徳瀬 226-2・241-1	個人住宅新築工事	125.86	16.0	11/13	確認	弥生時代	溝状遺構	弥生土器	2019115	工事実施
18	日田条里	民間	大字南豆田字三俣 477-3	個人住宅新築工事	235.00	3.0	11/19	確認	-	-	弥生土器 土師器	2019094	工事実施
19	入籠	民間	元町 601-14・596-8・596-11	個人住宅新築工事	85.50	8.0	11/21	確認	-	-	-	2019109	工事実施
20	日田条里	民間	三本松 1 丁目 242-5	個人住宅新築工事	362.98	14.0	12/5	確認	中世	土坑	土師質土器	2019114	工事実施
21	城下町	民間	丸山 2 丁目 81-7・81-8・81-9・81-10	建売住宅新築工事	728.59	33.2	12/10～12/11	確認	不明	柱穴 土坑	-	2019120	工事実施
22	山田原	民間	大字渡里字向原 545-2・546-2・547-2・555-2 (一部)、里道	工場進入路造成工事	1,185.28	36.0	12/18	確認	-	-	-	2019107	工事実施
23	三和教田	民間	大字三和字 1197-1	集合住宅新築工事	661.00	35.0	1/15	確認	-	-	-	2019126	工事実施
24	城下町	民間	豆田町 127	草野家住宅解体修理工事	485.18	13.0	1/30	確認	近世	整地層	陶磁器・瓦	2015034	発掘調査
25	日田条里 瀧ヶ本	民間	三本松 2 丁目 782	こども園改築工事	873.00	25.0	2/4～2/5	確認	古墳時代か	-	土師器 石器	2019131	工事実施
26	上井手	民間	下井手町 56-1	個人住宅新築工事	334.68	7.1	2/13	確認	不明	溝 小土坑	-	2019122	工事実施
27	慈眼山	民間	上城内町 2-6	携帯電話無線基地局 設置工事	1.50	0.8	2/19	確認	-	-	-	2019139	工事実施
28	日田条里	民間	城町 1 丁目 283-2	個人住宅及び共同住宅 新築工事	150.93	21.8	2/27～3/5	確認	近世以降	土坑 小土坑	陶磁器など	2019140	工事実施
29	内ノ下	民間	大字西有田字内の下 1305-7・1305-8・1310-1・1312-1・1315-1	事務所・工場・車両置場 造成工事	4,980.00	25.0	3/19	確認	-	-	-	2019153	工事実施

表5 予備調査一覧表

新しい様式では、協議を必要とする部署の中に文化財保護課が追加された。

この新しい「建築協議書」様式については、令和元年8月8日に周知され、同年9月1日より施行されることになった。これに伴い当課では、建築協議者が来課した際、開発協議箇所が「周知の埋蔵文化財包蔵地」に括られているか、いないかを確認し、埋蔵文化財包蔵地内に在る場合には、建築協議者へ、文化財保護法に基づく手続きを説明し、



	年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
本調査等件数	民間	5	4	1	5	2	1	0	1	3	4	6	1	4	3	4
	公共	6	4	4	4	0	3	8	6	3	2	1	1	0	1	1
予備調査件数	民間	27	21	26	30	21	18	15	12	14	15	11	8	17	38	26
	公共	9	7	10	5	13	9	5	8	8	11	4	6	4	4	3
受付件数	民間	72	81	142	144	105	157	131	139	104	92	68	80	73	150	171
	公共	11	19	54	51	51	53	64	40	21	60	42	25	34	24	69
専門職員数		6	5	5	5	5	6	5	5	4	4	4	4	4	4	3
嘱託職員数		0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表6 埋蔵文化財の調査件数と調査担当者の推移

書類の提出等について指導することが出来るようになった。この年の協議件数については、表6のとおりである。なお、新様式を用いた協議が、様式変更後の8月中から行われたことにより、その対応分も含めている。

当市文化財保護部局としては、この建築協議の変更により、今まで日の届き難かった小規模な建築工事の事前把握数が増え、開発側へのより有効な指導・助言等が可能となったことや、開発側代理人等への埋蔵文化財の取り扱いについての意識醸成が出来てきだし、その他の開発に対しても有益となっていくとみられることがプラス面といえよう。(今田)

協議月	周知の埋蔵文化財包蔵地		月ごと計	備考
	内	外		
8月	1	1	2	8月9日以降
9月	7	5	12	
10月	10	5	15	
11月	4	7	11	
12月	4	9	13	
1月	4	2	6	
2月	6	4	10	
3月	5	7	12	
合計	41	40	81	

表7 建築協議の対応件数

◇発掘調査の内容（表1・5）

2019年度は、4件の本調査と、史跡地内の確認調査を1件行った。それらのほか、予備調査を実施した29件の中には、本発掘調査の実施に至らずに確認調査等までで調査を終えたものの、日田市の歴史を考えていく上で重要な資料・情報を得ることが出来た遺跡もあった。本年報では、次項にて予備調査までの確認で発掘調査を終えた遺跡のうちのいくつかを紹介している。

ここでは、本発掘調査および予備調査の成果から、この年の市内での発掘調査から得られた情報を概観したい。

この年、先史時代の遺構は認められなかったが、吹上遺跡12次調査において、その風化度合いから旧石器時代の所産の可能性のある黒曜石製の二次加工剥片や調整剥片が認められており、遺跡の存在する吹上原の台地における当時の石器製作の存在を窺うことが出来た。なお、同調査では縄文時代のもものとみられる石鏃や尖頭状石器が出土している。

弥生時代のものとしては、前述の吹上遺跡12次調査において、前期後半から後期の貯蔵穴群とみられる土坑や小児用甕棺墓が確認され、弥生時代の遺跡として著名な吹上原での、台地上の空間（土地）利用の一端が窺えた。このほか、日田盆地のやや東寄りに位置する史跡咸宜園跡の確認調査においても、竪穴住居が数軒分検出され、盆地内の沖積面での当時の生活空間のひとつを把握した。

咸宜園跡と同じく盆地内の沖積面で行われた日田条里遺跡柿ノ木町地区の調査では、自然流路とみられる溝の埋土中より、古墳時代から古代・中世期の遺物が出土し、調査地の周辺に当時の遺跡が存在していたであろうことが窺えた。

町ノ坪遺跡5次調査と城下町遺跡大道西地区の確認調査では、柱穴とみられる小土坑が多く確認・検出されたが、どちらも明確な遺構の時期判断は出来ていない。城下町遺跡大道西地区については、永山城や永山布政所跡推定範囲の中、ないしは近接する位置であり、そこでの掘立柱建物群の存在は、位置的・時期的に興味深いものであり、今後の調査事例や資料の増加が望まれる。

この年、各種調査から特筆されるのは、近世・近代の調査といえよう。

江戸期の日田の中心都市であった豆田町にて行われた城下町遺跡7次調査や城下町遺跡八幡地区の確認調査では、焼土や炭化物を含む土層が確認され、江戸時代の大火的の痕跡が認められる。また、城下町遺跡7次調査では、土地造成の痕跡が確認され、豆田町の拡大の流れを垣間見ることが出来てきている。

前述の豆田町の東隣りに位置する城下町遺跡町裏地区の確認調査では、検出された土坑より江戸期から明治期にかけての陶磁器類が出土したが、その中には薩摩焼とみられる土瓶、いわゆる“黒ぢよか”と思われる陶器も含まれていた。同様の土瓶は、過去の咸宜園東家跡の発掘調査でも出土している。

こういった薩摩焼とみられる日用雑器の出土は、明治期に入り日田県設置に伴い、県知事や役人として薩摩出身者が入ってきた日田の状況を物語っているといえる有益な資料となろう。

史跡咸宜園跡（西家側）の確認調査では、史跡の時代である江戸期の遺構は確認出来なかったが、近代のもものとみられる廃棄土坑が複数確認され、江戸期から明治期の陶磁器が多く出土した。この陶磁器類の中には、地元のもものとみられる陶器も多く出土しており、日用雑器の中での地元の陶器の使われ方や、肥前磁器との関係での変遷を考えていく上で重要な資料を得ることが出来てきている。

(今田)

(2) 発掘調査・確認調査の概要

1. 町ノ坪遺跡5次調査

町ノ坪遺跡5次調査は、日田盆地東部に位置し、東西に流れる求来里川沿いの沖積地にある。

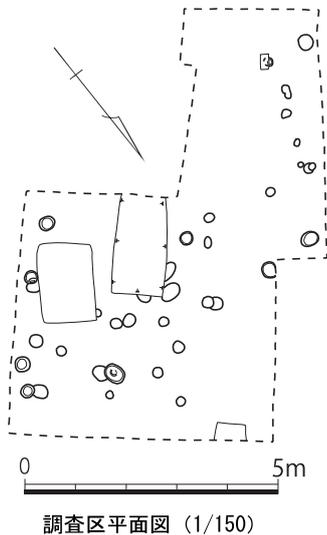
調査にあたっては、工事対象範囲の遺構検出を行ったのち、工事によって遺構が破壊される部分のみ完掘し、部分的に記録保存することとした。

対象範囲の遺構検出の結果、多数の小土坑を確認した。

このうち、記録保存の対象部分にかかる小土坑を掘り下げた結果、その一部は柱穴であることが見て取れた。

これら遺構の埋土からは、土師器や須恵器片が出土しているが、遺構を検出した層には弥生・古墳時代の遺物が含まれることから、遺構の時期については、古代以降と考えたい。

(上原)



調査区平面図 (1/150)

—個人住宅建築工事に伴う発掘調査—



調査地位置図 (1/5,000)



調査対象範囲全景 (北東より)

2. 日田条里遺跡 柿ノ木町地区

日田条里遺跡柿ノ木町地区は、日田盆地東側の沖積面に位置している。

調査では、3条の溝を確認した。

東西を軸とする1号溝は、底面のマンガン等の沈殿状況から水田の排水路とみられた。なお、遺物等の出土は無く時期は不明である。

調査地の西側を北から南に下る2条の溝は、東側を2号溝、西側を3号溝とした。2号溝及び3号溝は、ともに1号溝を切っており、須恵器や土師器など古墳時代から古代にかけての遺物や、中世以降の陶磁器類などが多く出土した。

この2・3号溝については、その検出状況や堆積状況などから自然流路とみられたため、完掘せず調査を終了させることとした。

今回、調査地においては、居住施設等は認められなかったが、2・3号溝からの出土遺物により、調査地の東から北方向にかけて古墳時代から古代中世の生活域が展開していることが窺えた。

また、1号溝の観察により、調査地東方面に水田があったと考えられる。

遺構の単純な切り合い関係からは、1号溝が2・3号溝に切られているように看取されるが、1号溝が機能していた時代にも、2・3号溝の一带には水が流れていたと考えられる。1号溝は、3号溝に接続していることも考えられるが、確認調査時の深掘りトレンチにより、その接続部分が失われていたため、明確に判断出来なかった。

なお、調査地一帯の明治時代の旧字図をみると、調査地の地目は「田」となっている。

2号溝では、埋土の上位に水田基盤層が部分的に残っているのが見られたことから、調査地に水田が作られる前には、少なくとも2号溝では水が流れていたものと想定される。

(今田)

—店舗新築工事に伴う発掘調査—



調査地位置図 (1/5,000)



作業風景

3. 吹上遺跡 12 次調査

— 鉄塔建設工事に伴う発掘調査 —

吹上遺跡は、日田盆地の北を区切る阿蘇 4 火砕流堆積物により形成された標高約 142m の吹上原と呼ばれる台地上に位置する。

この吹上原は、現在は畑として利用されているが、耕作の際に台地上のほぼ全面で土器や石器の出土が確認されており、特に磨製石器がよく見つかったことから「磨製石器の宝庫」として知られている。平成 7 年にはわずか 100 m² 程度の発掘調査で青銅器・鉄器・玉類が副葬された成人用大型甕棺墓が複数確認され、弥生時代の日田盆地のオウ墓ではないかと目されるようになり、この時の調査地は県史跡に、また出土遺物は国重要文化財に指定されている。

今回の調査地は、この県史跡指定地から北に約 100m の位置にあたる。

調査では、小児用甕棺墓 1 基、土坑 6 基などが確認された。

小児用甕棺墓は土器の形状から、弥生時代後期のものと考えられる。

土坑では、筒状で比較的深いものや断面がやや袋状を呈するもの、床面壁際に溝が巡るもの、完形に近い土器がそのまま埋まった状態で検出されたものが 4 基あり、弥生時代前期後半から後期の貯蔵穴群と考えられる。

なお、直径が 5 m を超える大型の土坑状の穴も検出され、平成 30 年度実施の予備調査段階では環濠集落の溝、発掘調査の当初は巨大な貯蔵穴など人為的な遺構として掘り下げたが、深くなるほど土層の堆積状況や遺構としての形状が曖昧になっていくこと、穴の下部壁面に水抜け穴と考えられる穴が確認されたことから、水の通り道が陥没して大きな穴となり、そのくぼみに周囲の土を埋めたものである可能性がある。

吹上原台地は昭和 54 年以降、重要遺跡として断続的に調査が行われてきており、冒頭に記した弥生時代のオウ墓以外にも、弥生時代前期後半から後期末にわたる集落・墳墓群が台地全体で確認されている。過去における今回の調査地周辺の調査では、弥生時代前期後半から中期初め、中期後半から後期の二時期を中心とした集落跡（竪穴住居跡・貯蔵穴）が確認されている。今回の調査はこれらの調査結果を追認する内容であったといえる。

(行時)



大型の土坑状の穴

北西から/左：上半土層、右：下半土層。

下半では水抜け穴に向かって土層が傾斜している



調査地位置図 (1/5,000)



貯蔵穴 (北東から)



小児用甕棺墓 (北東から)



調査区全景 (真上から/画面上が北東)

4. 城下町遺跡7次調査

—国指定重要文化財草野家住宅（個人住宅）保存修理工事に伴う発掘調査—

城下町遺跡7次調査地は、日田盆地の中央よりやや北よりに位置し、国の伝統建造物保存地区に選定されている豆田町の南側にある。

調査は、国指定重要文化財草野家住宅の耐震補強工事に伴い、地表面下に掘削が及び過去の遺構が失われる箇所を対象に行った。

調査の結果、現地表面の直下から調査地全面に焼土や炭化物を含む層（以下、整地層：写真①）を検出し、この層の下の層から土間（写真②）を確認した。さらに、その下の層からは、にぶい橙色砂質土層（写真③）を確認し、この層からは、調査地北端で10cm～20cm大の円礫が約80cmの幅で東西軸に带状で検出した。あわせて、その南側では多量の瓦片が、円礫と同様に東西軸に带状約60cm幅で検出された。



調査地位置図（1/5,000）



調査区全景（南より）

写真①

写真②

写真③

これより下の層の土は、礫や遺物を包含している状況などから自然堆積ではなく、造成土と考えられる。

なお、現地表面直下で確認された整地層は、多量の焼土や炭化物を含むことから、明和9年（1772年）の大火後の整地層である可能性がある。

調査は、次年度に継続する。

（上原）

調査区全景（南より）▶
造成土を除去した状況



5. 城下町遺跡 大道西地区

—建売住宅建築工事に伴う確認調査—

城下町遺跡大道西地区は、日田盆地の中央よりやや北に所在し、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている豆田町の北側、県指定史跡永山城（指定地は、堀を含めて南北約245m×東西約200mで現在の月隈公園とほぼ同じ範囲）の東隣りに位置している。

調査では、工事の対象となる区画に計5本のトレンチを設定した。

その結果、対象地の西端となる市道橋口塚端線との接続部分付近に設定した第5トレンチ以外の4本のトレンチにおいて、現地表面から約65cm～80cm下の明黄褐色砂質土層上面にて、柱穴や土坑を確認した。

なお、今回の確認調査においては、遺物が出土しなかったこと

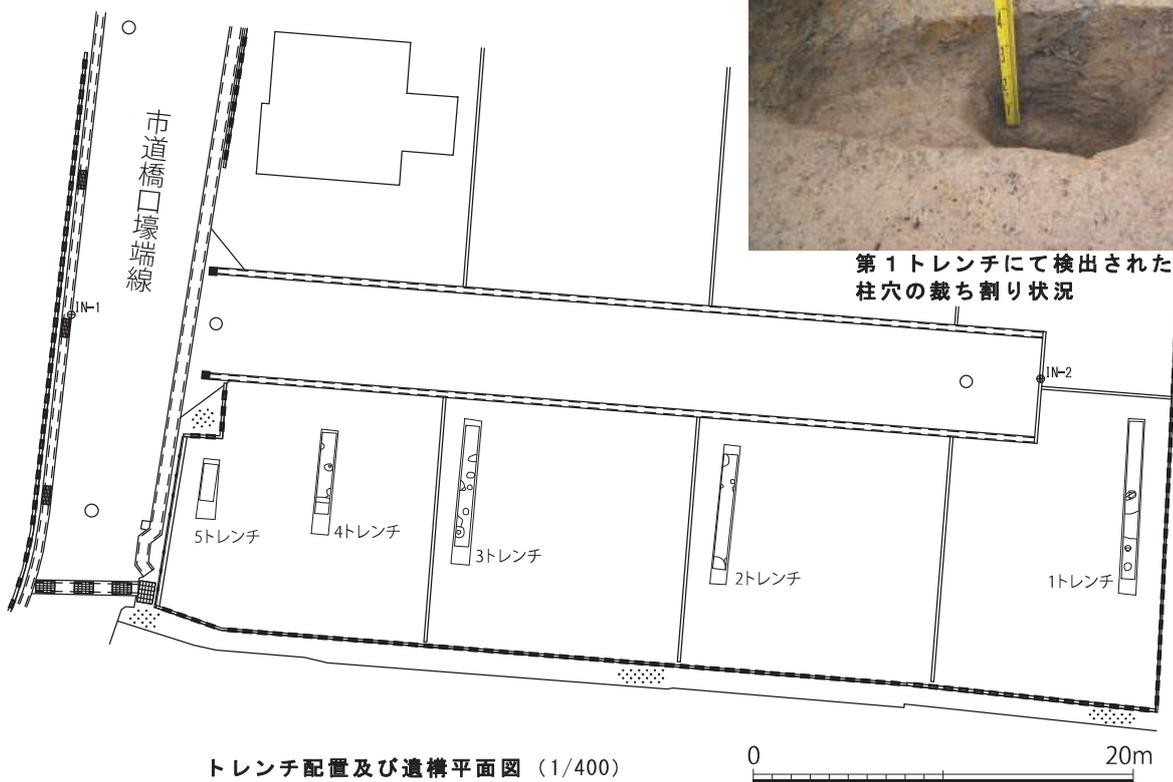


調査地位置図（1/5,000）

から、これらの遺構の時期判断は出来なかった。（上原）



第1トレンチにて検出された柱穴の裁ち割り状況



トレンチ配置及び遺構平面図 (1/400)

6. 城下町遺跡 八幡地区

—公園整備事業に伴う確認調査—

城下町遺跡八幡地区は、日田盆地の中央よりやや北よりに位置している。また調査地は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている豆田町のほぼ中央にあたる。

調査は、工事によって掘削が深く及ぶ場所を中心にトレンチを設定して行った。

その結果、すべてのトレンチから炭化物や焼土を含む土層が確認され、東側に設置したトレンチからは土間とみられる痕跡が確認されるなど、過去の生活面を把握することが出来た。

さらに、対象地の南側に設定したトレンチでは、東西軸となる礎石や石列の可能性のある複数の石が確認された。

今回の調査で確認された炭化物・焼土を含む土層は、その検出状況から、江戸時代に豆田町で発生した大火により形成されたものと、容易に想定された。

また、調査地南側で確認された石列については、その位置や状況から、当時の敷地境に設けられたものとみられる。（上原）



調査地近景（東より）



調査地位置図 (1/5,000)



土層断面（焼土や炭化物が見て取れる）

II 史跡等整備事業

1. 国指定史跡咸宜園跡

史跡地には、南北に通りが縦貫しており、その西側は、「西家」といわれる空間にあたる。

令和元年度は、この西家側における3年間の発掘調査計画の2年目として、現状変更計画に基づき史跡地西側の約500㎡を対象に調査に入った。なお、今回は、埋蔵文化財の確認調査に先立ち、前年度調査箇所に残っている現代の金融機関建物の基礎の除去作業を実施した。

今回の調査箇所は、明治時代の塾解体後に、郡役所や産業会館が設置（建築）されていた位置であったことから、当初は、建物基礎により地表下が深く削平を受けていた昨年度調査箇所とは異なり、現地表面より0.2～0.3m下で遺構面が確認できるのではないかと想定していた。

しかし、実際調査に入ってみると、明治時代以降の建物建築等に伴う造成の影響が大きく、現地表面から地山等（遺構等検出面）までの深さは、0.4～0.9mと厚く、咸宜園の時期と考えられる遺構の存在は窺えなかった。

今回の調査で遺構として確認できたのは、近代以降とみられる土坑や溝状遺構、そして弥生時代の竪穴住居などであった。

近代の遺構としては、特にゴミ穴とみられる複数の土坑が認められ、その中から多くの陶磁器類などの遺物が出土した。それら廃棄土坑とみられる遺構から出土した遺物の中には、江戸期の肥前磁器や、現在では小鹿田焼と呼ばれている地元の陶器、

そして赤間硯や廣瀬淡窓の時代の門下生の名が刻まれた砥石など、明治時代以前の塾（咸宜園）が存在していた頃の資料とみられるものも含まれていた。

以上のとおり、今回の調査箇所では、史跡の時代のものとみられる遺構は認められなかったが、咸宜園の初期のころの門下生の存在を示す砥石や、硯などの書道具、江戸期の陶磁器類など、当時を窺わせる遺物の出土をみた。

なお、今回の最終的な調査面積は、当初の予定より30㎡ほど減じて約470㎡となった。

今回の調査の中心は、以前より「咸宜園の井戸」として後世まで残されていた範囲とその付近となる。この位置については、これまでの調査箇所と違い、後世の造成などが、土地に与えた影響は少ない、もしくは無いものとみられる。よって史跡の時代の遺構の確認が期待される。

（今田）



咸宜園西家跡全景（南東上空より）

写真の中央が調査地。その左手がJR九州久大本線の線路、右手の道路が市道御幸通り線、さらにその右手が東家跡となる。

※写真の奥の丘陵上に吹上遺跡（7頁）がある。



発掘作業風景



▲出土陶器

◀ 遺物検出状況



▲出土陶器（土瓶）

2. 国指定史跡ガランドヤ古墳

令和元年度は、昨年度に引き続き公園整備工事として下記①～④の工事を実施した。

①史跡内整備工事・②史跡外整備工事・③2号墳樹木伐採工事・④2号墳環境調査施設建設工事

①②は、前年度の工事で造成等を行った場所に芝張りや真砂土舗装、駐車場整備、照明灯設置、フェンス・生垣設置、古墳の解説板の設置等を行ったものである。④は、2号墳の装飾壁画保存に向けた温湿度等の環境調査を目的とする覆屋の建設工事で、現在わずかに残っている墳丘をそのまま保護したうえで建物基礎を設置し、墳丘・石室への影響を極力与えない軽量なものとして、鉄骨構造体の上にテント様の膜生地を張った屋根としている。③は、④の工事に先立ち、また石室への樹根の侵入・生長を阻止するために、墳丘上に自生している銀杏を伐採したものである。

また、1号墳については、前年度に引き続き保存施設内の見学用設備等に関する実施設計業務の委託を実施した。

上記のほか、保存整備委員会（7月31日）、整備状況の記録を目的とした空中写真撮影、1・2号墳石室の装飾壁画の現況記録のための写真撮影を実施した。

次年度は、ガイダンス施設の建設（展示工事は次々年度）を行う予定である。

(行時)



2号墳樹木伐採工事風景



2号墳環境調査施設

3. 国指定史跡廣瀬淡窓旧宅及び墓

令和元年度は、前年度に実施した北家主屋の解体工事実施設計に基づく解体工事を行い、引き続き、同じく前年度から令和元年度にかけて実施した保存修理工事実施設計に基づく組立工事に着手した。

解体工事においては、主屋西側の構造材及び外壁部の経年劣化による損傷が著しく、材料の補強や取り替えを行ったほか、耐力壁の増設など、順次耐震補強工事も併せて実施した。

また、解体工事中である6月25日には地元住民や大分県建築士会員等を対象に現場見学会を行い、44名の参加があった。

保存整備委員会については、7月3日に開催し、北家主屋の仮設・解体工事の内容や修理方針、保存修理工事実施設計と同工事について指導・助言を受けた。

次年度は、引き続き北家主屋の保存修理工事を行う予定である。

なお、この事業の主体は所有者である廣瀬家であり、日田市は国・県とともに市費による補助金を交付し、また業務支援を行っている。

(行時)



解体工事状況



現場見学会風景（6月25日）



保存修理工事状況

Ⅲ 普及・啓発事業

(1) 埋蔵文化財センター運営事業

平成 15 年度より、普及・啓発事業を中心とした埋蔵文化財センター運営事業を継続して行っており、市民を対象とした考古学講座、考古体験などを実施した。

月	見学者数	内訳	
		団体	個人
4月	18	0	18
5月	79	71	8
6月	30	22	8
7月	26	20	6
8月	9	0	9
9月	47	40	7
10月	40	34	6
11月	6	0	6
12月	7	0	7
1月	5	0	5
2月	2	0	2
3月	0	0	0
計	269	187	82

【主な来訪団体】

- ・桂林小学校 6 年生 (57名/5月)
- ・いつま小学校 6 年生 (13名/5月)
- ・北九州の文化財を守る会 (22名/6月)
- ・朝日小学校 6 年生 (19名/6月)
- ・別府市ふれあい広場 サザンクロス講座 「ふるさとガイド」 (40名/9月)
- ・(株)国際交流サービス (17名/10月)
- ・古代史の会大分 (17名/10月)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月2日から休館とした。

表 8 埋蔵文化財センター見学者数



常設展見学風景 (桂林小学校 6 年生)



常設展見学風景 (株)国際交流サービス

1. 考古学講座「タイムトリップひた vol.17」

本講座は、市民を対象に、「考古学」を通して「地域の歴史」に対する関心を深めてもらうことを目的として開催している。本年度は、重要文化財「大分県吹上遺跡出土品」の修理完了に伴う九州国立博物館及び大分県立歴史博物館での展示に合わせ、「吹上遺跡」をテーマに、県内外から講師を招き、バスツアー2回を含む全5回の講座を実施した。

なお、第3講には、新しい試みとして、別府大学の協力のもと、大学構内にて、午前中は教室での講義、昼休みには学食での昼食、午後から実習室での実習参加と、受講生の方々に、考古学を学ぶ大学生の気分になってもらうような内容を実施した。

講座	月日	内 容	講 師	受講人数
第1講	10月25日	比多のクニの首長の原像ー吹上遺跡・小迫辻原遺跡を読む	別府大学 名誉教授 後藤 宗俊 氏	43 ^{*1}
第2講	11月1日	バスツアー (福岡県太宰府市 九州国立博物館) [特集展示] 住友財団修復助成30年記念「文化財よ、永遠に」 《講義》展示の見どころと赤色顔料から探る吹上遺跡 (展示見学) ※あわせて開催中の「特別展 三国志」も見学	九州国立博物館博物館 科学課 保存修復室長 志賀 智史 氏	42
第3講	12月6日	バスツアー (別府市 別府大学) 《講義》吹上遺跡を見直そう 《昼食》学食 (展示等見学) 別府大学史展示室・歴史文化総合研究センター 《実習ほか》最先端技術で遺物を記録するー三次元化計測の実演ー	別府大学 教授 下村 智 氏	35
第4講	1月17日	土器をなおす ー元興寺文化財研究所と土器の保存修復ー	元興寺文化財研究所 総合文化財センター (奈良県) 江野 朋子 氏	27
第5講	2月13日	いにしえのおおいた ～弥生時代から古墳時代のおおいた～ (大分県立歴史博物館 出張！歴史文化講座)	大分県立歴史博物館 主任研究員 越智 淳平 氏	39 ^{*2}

◆受講申し込み者数は 58 名

※1 正規の受講生 43 名のほか、古代史研究会(大分市)会員 15 名が聴講。

※2 正規の受講生 39 名のほか、一般参加者 6 名が聴講。

表 9 講座の内容と受講者数



第1講



第2講



第5講



第3講 講義
(広い講義室で受講)



第3講 昼食
(受講生みんなで大学の学食にて)



第3講 実習
(実習室で最先端技術を体感)



◀ 第3講 展示見学
(左) 別府大学史展示室
(右) 歴史文化総合研究センター

2. 考古体験

楽しみながら先人の知恵や技に触れ、埋蔵文化財についての理解を深めてもらうための機会を提供する目的から、「火焔し体験・展示見学・整理作業見学・考古の話」などの体験メニューを各団体からの申込みにより実施した。

例年は、小学生の体験がほとんどであったが、本年度は、成人団体の申込が複数あったほか、旅行会社の企画に組み込まれた事例もあった。

また、この年は、ラグビーワールドカップが日本で開催されることにあわせた関連イベントとして、ラグビーボールの形が「切子玉」に似ていることから、“古代の玉づくり体験”を、市内の観光地として著名な豆田町にて催した。

月日	申込者	団体名等	目的	内 容	場 所	参加人数
5月14日	日田市立桂林小学校	桂林小学校6年生 (児童+教諭)	地域の歴史学習	考古の話・展示見学 ・整理作業見学	埋蔵文化財センター	57
5月16日	日田市立いつま小学校	いつま小学校 6年生(児童+校長)	地域の歴史学習	現地見学・考古の話 ・展示見学	宇土遺跡3号墳・1号墳 ・埋蔵文化財センター	13
6月16日	北九州の文化財を守る会	同左	文化財に興味を持ってもらう	展示見学・現地見学	埋蔵文化財センター・ ガランドヤ古墳(外観のみ)	22
7月4日	日田市立朝日小学校	桂林小学校6年生 (児童+教諭)	地域の歴史学習	考古の話・展示見学 ・火おこし体験	埋蔵文化財センター	19
9月24日	別府市ふれあい広場 サザンクロス講座 「ふるさとガイド」	同左 (受講生+引率+講師)	日田市の古墳文化について学ぶ	展示見学・現地見学	ガランドヤ古墳(外観のみ) ・埋蔵文化財センター	40
10月4日	株式会社 国際交流サービス	小笠原好彦先生(滋賀大学 名誉教授・考古学)と行く 大分(宇佐・臼杵・日田) 史跡と考古の旅	団体旅行	展示見学	埋蔵文化財センター	17
10月18日	(市文化財保護課主催)	(観光客対象)	ラグビーワールドカップ 関連イベント 「ラグビー×考古学? 古代の玉づくり体験」	切子玉や勾玉などを 古代の玉類を模した アクセサリーを作る 体験	豆田まちづくり歴史交流館 そばの東屋	2

表10 考古体験の内容と参加者数



考古の話（いつま小学校）



史跡見学（いつま小学校：宇土遺跡3号墳）



展示見学（北九州の文化財を守る会）



展示見学（別府市サザンクロス講座）



火おこし体験（朝日小学校）



ラグビーワールドカップ関連イベント（豆田町にて）▶

（2）普及啓発事業

遺跡の調査内容を広く市民に公開するため、現地説明会、講師の派遣や調査報告書の作成などを行った。

1. 現地説明会・体験会

◆ボランティアによる国指定史跡小迫辻原遺跡草刈り

地域にある史跡・文化財に触れて歴史についての関心を深めるため、ボランティアによる史跡内の除草作業を行い、あわせて史跡についての解説を行った。ボランティアの参加募集にあたっては、遺跡の所在する地元の自治会長に、地域の方への周知や日程等の調整について協力いただき、多くの方の参加を得ることができた。

開催日：10月30日 場所：小迫辻原遺跡 参加者：15名



草刈り作業風景

2. 講師等派遣

講師の派遣依頼は6件であった。例年は小学校や公民館活動に伴うこども対象の依頼が多いものの、本年度は成人の公民館活動に伴うものが半数以上となった。

月日	派遣依頼者	対応内容	内容	場所	対応職員	対象者人数
6月7日	日田市三芳公民館	三芳公民館の地元児童を対象として事業に、ゲストティーチャーとして対応	《日田市立三芳小学校6年生対象》 法恩寺山古墳群（国指定史跡）現地見学 →「三芳の歴史と文化財」の講話に変更	現地 →三芳公民館 に変更	上原・田島 （文化財管理係）	73
7月18日	日田市小野公民館	ふれあい宅配講座の対応 *こととい大学（高齢者教室）での講話	▼「日田の遺跡について ～遺跡からみた日田の歴史～」の講話 ▼会場内に「さわってみよう！」コーナーを作り、土器や石器を展示	小野公民館	河津・今田・樋口	32
10月7日	日田市高瀬公民館	高瀬公民館まちづくり事業『高瀬の歴史』～大人のふるさと探訪～の対応	「遺跡からみた日田の歴史」の講話	高瀬公民館	上原	14
10月24日	日田市高瀬公民館	高瀬公民館まちづくり事業『高瀬の歴史』～大人のふるさと探訪～（フィールドワーク）の対応	陣ヶ原の石人・永平寺跡板碑・姫塚古墳・惣田塚古墳の現地見学の際の説明	現地	河津・上原	18
12月21日	日田考古学同好会	学習会の対応	「弥生時代の吹上遺跡について —附 今年度の吹上遺跡12調査 速報—」を講演	別府大学日田歴史文化研究センター	上原	30
1月27日	日田市高瀬公民館	高瀬公民館青少年育成事業『高瀬ふるさと探訪』の講話とフィールドワークの対応	《日田市立高瀬小学校6年生対象》 ▼「高瀬地区の歴史」の講話 ▼陣ヶ原の石人・永平寺跡板碑・姫塚古墳・惣田塚古墳の現地見学の際の説明	高瀬公民館 ・現地	上原・仲 （文化財管理係）	35

表11 講師等の派遣内容



三芳公民館(講話)



高瀬公民館 (左: 講話・右: 永平寺跡板碑見学)



高瀬公民館(小学6年生: 姫塚古墳見学)



小野公民館
(左: 講話・下: 展示見学)



3. 刊行物

埋蔵文化財の発掘調査報告書を3冊と平成30年度の埋蔵文化財年報を刊行した。

シリーズ番号	書名	体裁	総頁	内容	担当者
—	平成30年度(2018年度)日田市埋蔵文化財年報	A4	24	平成30年度に日田市教育委員会が行った埋蔵文化財保護事業、普及啓発事業などを所収。	今田(編集)
第137集	城下町遺跡 一6次調査一	A4	26	豆田地区日田祇園山鉾収納庫建設に伴い、平成30年度に実施した発掘調査の成果を所収。 調査地は、日田盆地内の沖積面に位置している。 遺構といえる人為的な痕跡はみられなかったが、縄文時代から古代までの遺物が出土したことから、調査地周辺に先史・古代の遺跡が存在しているということが窺えた。	今田
第138集	柳ノ本遺跡 一3次調査一	A4	18	病院増築工事に伴い、平成29年度に実施した埋蔵文化財発掘調査の成果を所収。 調査地は、日田盆地内の沖積面に位置している。 今調査では、これまでの調査で確認されなかった古墳時代後期の遺構が確認され、柳ノ本遺跡が、弥生時代中期後半から古代に至る密集度の高い集落と墳墓群で構成されていることが明らかになった。	上原
第139集	下中城遺跡	A4	24	病院建設工事に伴い、平成29年度に実施した埋蔵文化財発掘調査の成果を所収。 調査地は、日田盆地内の沖積面に位置している。 弥生時代後期と中世の遺構を確認され、その遺構配置などから、当時の人が微高地上を選定し、生活面としていたことが判明した。	上原

(3) その他

1. 資料閲覧

調査・閲覧月日	調査・閲覧者	調査・閲覧資料名	調査等の内容	目的等
3月3日・4日	下村智 (別府大学教授)	吹上遺跡6次調査出土副葬品等 銅戈 2口 銅剣 1口 把頭飾 1点 ゴホウラ製貝輪 2点 イモガイ製貝輪 2点	非接触による3D計測	学術研究 *モデル作成による製品との比較研究

2. 掲載申請

許可日	資料名	申請者	目的
4月16日	国指定重要文化財大分県吹上遺跡出土品の写真 ・銅戈 ・1号木棺墓出土の副葬品（銅剣と把頭飾）	大分県立歴史博物館	令和元年度行事予定表・ポスター等への掲載
5月15日	平成30年度刊行日田市埋蔵文化財調査報告書等PDF	ひたインターネット協議会	ホームページ掲載
5月21日	『平成29年度日田市埋蔵文化財年報』内の調査概要	日田市考古学同好会	会報『比多考古』への引用掲載
5月28日	ガランドヤ古墳1号墳壁画写真	大分県立埋蔵文化財センター	企画展『考古学どうぶつワンダーランド』に展示
5月28日	ガランドヤ古墳1号墳写真 1号墳保存施設完成風景写真	日本テレビ放送網株式会社 情報制作局 スッキリ プロデューサー	『スッキリ』番組内の「キニナルジャーナル」のコーナーで利用（5月30日0A）
5月30日	赤迫遺跡A地点空中写真 赤迫遺跡A地点下駄出土状況写真	日田市立博物館	特別展「はきものの歩みと日田下駄」の展示パネル・図録・館内映像ビデオに利用
2月14日	小迫辻原遺跡1号環濠居館南側発掘状況写真 小迫辻原遺跡1号環濠居館の断面写真	株式会社グレイル	TJMOOK『古代史の謎を歩く』（仮称）掲載
3月6日	ガランドヤ古墳2号墳外観写真 ガランドヤ古墳2号墳奥壁写真 ガランドヤ古墳2号墳奥壁図面 穴観音古墳外観写真	福岡県筑紫野市教育委員会	五郎山古墳館ガイダンス装置のタッチパネルの「古墳に描かれた騎馬人物」・「古墳に描かれた鳥」の装飾古墳の紹介に使用

3. 資料貸出

貸出期間	資料名	貸出先	目的
4月1日～3月31日	宇土遺跡出土資料 投弾 2点	大分県立歴史博物館	常設展示室展示
4月1日～3月31日	筑後軌道豆田駅跡出土資料 犬釘 5点	日田市観光協会	天領日田資料館展示室展示
8月1日～11月30日	吹上遺跡出土資料 銅戈 1点 鉄剣 1点 貝輪 6点 勾玉 1点 ガラス管玉 18連 4号甕棺墓下甕 1点	公益財団法人 住友財団 九州国立博物館	特集展示 「文化財よ、永遠に」展示
7月5日～9月30日	赤迫遺跡 A地点出土資料 下駄 1点	日田市立博物館	特別展 「はきものの歩みと日田下駄」 展示
10月1日～10月31日	貫頭着（普及啓発用備品） 4着 首飾り模造品（普及啓発用備品） 10連	石松 愛明	古代米の稲刈りで使用
2月13日～5月15日	日田糸里遺跡 黒色土器 1点 上手地区 白磁碗片 3点 石鍋 1点 大肥中村遺跡 青磁碗 1点 小刀 1点 硯 1枚 銅銭 1点 森ノ元遺跡 青磁碗 1点 青磁皿 1点 小刀 1点 尾漕遺跡 4次 懸仏 1点 小迫辻原遺跡 K区 墨書青磁碗 1点 小迫辻原遺跡 O区 小札 1点 永山城跡 磁器片 3点 瓦 1点 慈眼山遺跡 土師質土器 6点	日田市立博物館	特別展「日田の城跡を歩く」 展示

4. 図書の収蔵

平成31年度に各機関等から寄贈を受けた図書

総数 678 冊。

[内訳]

文化財機関 29 冊、大学 55 冊、博物館 52 冊、都道府県教育委員会 159 冊、市町村教育委員会 372 冊、その他 10 冊

平成31年度購入図書

下記月刊誌を定期購読。

・月刊文化財 ・月刊考古学ジャーナル ・文化財発掘出土情報

IV 史跡の災害復旧

1. 県指定史跡 永山城跡

①平成 30 年 7 月豪雨被災に伴う災害復旧事業

平成 30 年 7 月、西日本一帯で豪雨が発生し、日田市でも 7 月 4～8 日の総雨量が 372 ミリに至り、大手石垣（石垣 10）の下に存在する石垣 11 とその下部崖面が凝灰岩の岩盤ごと崩落した。崩落個所に隣接する未崩落部分も放置すれば崩落する危険性があること、下記②事業にて積み直しの終わった大手石垣が再度崩落する恐れがあること、さらに現地は史跡かつ公園であり来訪者に危険が及ぶ可能性があることから、緊急性を鑑みて平成 30 年度から災害復旧事業に着手した。この年度中には工事の実施設計を行い、自然を生かし樹木伐採や法面整形を必要とせず、既存の景観・環境及び史跡としての価値を維持することができるノンフレーム工法+植生基材吹付により施工することとなった。しかし工事着手が平成 31 年 2 月にずれ込んだため、平成 31 年度まで工期を延長した。

平成 31 年度は、前年度中にノンフレーム工法によるロックボルトの位置決めまで行っていたので、引き続きその穿孔から始まった。セメントミルク注入や支圧板設置、ワイヤーによるロックボルト頭部連結等を経て、8 月末で工事を完了した。なお、当初の予定では植生基材吹付を行うこととしていたが、植生吹付ではノンフレーム工法の構造物を汚し、かつ緑化までに大雨等があれば吹付基材が流れてしまい、十分な効果を得られない可能性があること、植生マット利用であれば支圧板の下に敷きこむことが可能で、構造物を汚さず施工性に優れ施工効果が高いことから、植生マットに変更しており、施工後は順調に緑化が進んでいる。

②平成 28 年度熊本地震被災に伴う災害復旧事業

平成 28 年 4 月の熊本地震により被災した大手石垣の一部（石垣 9・10）及び天守跡石垣の一部（石垣 2）の積み直しと石垣 2 施工中に確認された石垣の孕みの積み直し作業、そして石垣の天端施工は、平成 30 年 9 月末までに完了していたが、その途中で上記①が発生したため、本事業で設置していた仮設道を引き続き使用する必要が生じたことから残置した。①の進捗に伴い 8 月末に仮設道撤去等を行い、工事を完了した。（行時）



永山城跡施設名称図

施設名称凡例一覧表

施設番号	種別	名称	構造	規模 (m)	高さ (m)	面積 (m ²)	石垣番号	名称
A	石垣	天守跡		19	16	120		天守跡北
B	石垣	本丸跡		51	37	117		天守跡西
C	門	櫓子門						本丸跡北
D	石垣	大手門北横石				116		石垣①南西
E	石垣	大手門南横石		19	13	117		大手門北横北
F	石垣	曲輪①	菅戸有	43	22	92		大手門北横西
G	石垣	曲輪②		16	10	106		大手門北横南
H	石垣	曲輪③		49	20	105		大手門南横北
I	石垣	曲輪④		19	12	110		大手門南横西
J	石垣	曲輪⑤		45	22	111		大手門南横南
K	石垣	曲輪⑥		35	14	90		石垣①南東
L	石垣	曲輪⑦		12	10	97		石垣②南
M	石垣	曲輪⑧	現出輪	84	40	80		石垣③北
N	石垣	曲輪⑨	現出輪	100	60	89		石垣④南
O	石垣	曲輪⑩	現出輪			89		石垣⑤北西
P	堀	堀段①				87		石垣⑥北
Q	堀					87		石垣⑦南
R	堀		現況溝底183.5m			85		石垣⑧西
S	堀					86		石垣⑨南
T	堀					87		石垣⑩南
U	堀					87		石垣⑪東

※永山城にかかる施設の詳細及び名称については、上記位置図及び凡例表に統一して表現するものとし、以下の報告文中及び図中の標記もこれに基づくものとする。



ノンフレーム工法施工状況



施工完了と植生状況（8月）▶

V その他

1. 永山城跡の石造物

県史跡永山城跡の指定地内には、宗教法人月隈神社所有の石造物が複数存在し、そのうち鳥居1基・石灯籠2基が、平成28年4月熊本地震に起因する永山城跡の石垣崩落により破損した。これらの石造物は文化3年（1806）郡代羽倉権九郎により寄進された鳥居や、文政3年（1820）・安政2年（1855）の石灯籠であり、永山城廃城（17世紀後半）後においても信仰の対象となっていた月隈山の歴史的な意義を示すものとして史跡の価値に資する要素と考えられている。このため、石造物の所有者である宗教法人月隈神社に対し、日田市は県とともに市費による補助金を交付し、修復を行った。

修復にあたっては、可能な限りもとの部材を使用することを原則とし、破損の著しいものは安全上の問題からやむを得ず新材にて補うこととした。鳥居については、柱など長い石材が複数に折れていたため、もとの部材をステンレスアンカーで接合し、エポキシ樹脂系接着剤で接着のうえモルタルで補修した。

（行時）



破損前の鳥居



鳥居の修復完了状況

2. 三和教田遺跡E地点出土土器の付着物

三和教田遺跡E地点は、平成11年に店舗建設に伴い発掘調査がなされ、縄文時代後・晩期の土器や石器、木製品等が出土している（註1）。

平成31年度、将来の報告書作成に向けて、出土遺物を確認していたところ、縄文土器の中に、内面に食べ物のような炭化物が付着している土器片や、外面や内面に年代測定が可能なほどの炭化物が付着している土器片がみられた。

このうち分析可能な資料を下記3点選び出し、自然科学分析を実施することとした。

資料①は、深鉢形土器の胴部片で内面に食べ物がタール状になったように見て取れる炭化物が付着している。

資料②は、鉢形土器ないし深鉢形土器の頸部片とみられ、外面に煤とみられる炭化物が付着している。外面には格子目の撚糸とみられる圧痕が施されている。

資料③は、深鉢形土器の胴部下半部の破片であり、内面に煤のような炭化物が付着している。

なお、これらの土器片は、その器面調整や焼成具合はもちろんのこと、隣接地の過去の調査事例（註2）などから、縄文時代後期後葉の所産とみられるものである。

これら土器片付着物については、食材や調理形態など包括的な古食性復元を目的とし、以下内容にて自然科学分析を実施した。

分析について、炭素・窒素安定同位体比測定および放射性炭素年代測定は、すべての資料で実施し、食べ物とみられる炭化物が付着している資料①については、顕微鏡観察と脂質分析も、あわせて実施した（註3）。

今回、自然科学の分野が日々進歩している状況を考慮し、本年



資料①



資料②



資料③▶

報にて分析結果のみを、速報的に紹介するものである。

なお、分析データなども含めて公表する正式な報告は、将来刊行するであろう埋蔵文化財発掘調査報告書にて掲載するか、もしくは別の刊行物に掲載する予定である。

さて、分析の結果は下記のとおりであった。

資料①に鉛状に付着した炭化物の一部には鱗茎とみられる形態が認められた。この炭化鱗茎は、実体顕微鏡及び走査型顕微鏡を用いて観察し、外部形態と細胞形態を調べた結果、ノビルとツルボ、ヒガンバナの可能性が考えられるものであった。また、あわせて行った脂質分析と炭素同位体組成、炭素・窒素含有量分析の結果からも、おそらく鱗茎であろうとの推定と総合的な分析結果が得られている。

資料②と資料③に付着している炭化物については、炭素・窒素安定同位体比分析にて、資料②は概ねC3植物・草食動物に由来する炭化物と推定され、資料③は主にC3植物に由来する炭化物と推定されている。

なお、C3植物とは、例えば、イネ・コムギ・オオムギなどの穀類、クリやトチなどの木本植物とその種実、ヤマイモ・ホウレンソウ・ダイズなどを含むほとんどすべての植物が該当するとのこと。一方、C4植物とされるものは、熱帯原産のイネ科を主とし、カヤツリグサ科その他の単子葉植物および双子葉植物などが知られ、その代表としてはキビ・アワ・ヒエ・トウモロコシ・サトウキビ・カヤ・ススキ・ジュズダマなどが挙げられる^(註4)とのこと。

これら3点の資料は、付着炭化物の放射性炭素年代で、3120～3105 ¹⁴C BP と縄文時代後期後葉の年代を示しており^(註5)、土器片から想定される時期とも一致するものであった。(今田)

【註1】 若杉竜太「14.三和教田遺跡E地点」『平成10年度(1998年度)日田市埋蔵文化財年報』日田市教育委員会 2000

【註2】 吉田博嗣『三和教田遺跡C地点-県道大鶴熊取線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』大分県文化財調査報告書第98輯 大分県教育委員会 1997

【註3】 各分析報告の分析者等は以下のとおり

[放射性炭素年代測定] パレオ・ラボ AMS年代測定グループ(伊藤茂・佐藤正教・廣田正史・山形秀樹・Zaur Lomtadze・竹原弘展)

[炭化鱗茎の顕微鏡観察] 米田恭子(パレオ・ラボ)

[炭化物の残存脂質分析] 宮田佳樹・宮内信雄(東京大学総合研究博物館)・堀内晶子(国際基督教大学)・吉田邦夫(東京大学総合研究博物館)・竹原弘展(パレオ・ラボ)

[炭素・窒素安定同位体比分析] 山形秀樹(パレオ・ラボ)

【註4】 参考・引用文献は下記

吉田邦夫・宮崎ゆみ子「煮炊きして出来た炭化物の同位体分析による土器付着炭化物の由来についての研究」『日本における稲作以前の主食植物の研究 平成16～18年度科学研究費補助金基盤研究(B)(1)研究成果報告書』研究代表者 西田泰民 2007

【註5】 参考文献は下記

宮地聡一郎「黒色磨研土器」『総覧 縄文土器』株式会社アム・プロモーション『総覧 縄文土器』刊行委員会 2008
工藤雄一郎『旧石器・縄文時代の環境文化史 高精度放射性炭素年代測定と考古学』新泉社 2012

3. 城下町遺跡(大字豆田字魚町)の確認調査で認められた土瓶

令和元年12月24日、城下町遺跡内で行われる住宅の排水管理設工事に伴い、市教育委員会は事前の確認調査を実施した。その際、確認調査のトレンチに接するカタチで、その外側から、ほぼ完形の土瓶が、据えられた状態で認められた。

この土瓶は、住宅の床下の、そう深くない位置に埋められており、蓋をし、身の中には土等は入りこんでおらず空洞となっており、その状況から所謂“胞衣壺”とみられるものであった。

この胞衣壺として利用されたと想像される土瓶は、現在も使われている住宅に伴うものであることから、再び床下の地中に埋め戻すことになる。



土瓶確認状況(その1)

このため、住宅の所有者側に写真撮影及び図化についてのお願いをし、その了解を得ることが出来た。

今回、住宅の工事の進捗にあわせて、再び地中に戻ることになるその土瓶を紹介したい。

この土瓶は、身の注ぎ口の反対側の耳が欠けていることを除けば、完形である。

身と蓋は、いずれも陶器で、その作りや呉須の色の合い、筆触などから、本来はセットではない別物であったことが容易に判る。

身については、胴は丸みを帯び、底は上げ底、耳は紐づくりであり、注ぎ口は、まっすぐ立ち上がり、その形状的には益子や信楽の山水土瓶を思わせるものである。また、山水風の染め付け文様から、関西方面を産地とするものではないかとみられ、呉須の色彩の特徴から、製作年代は1800～1860年代と考えられる。

なお、文様の下位に書かれた文字は、注ぎ口の下から反時計回りで「松・風・亭・近・図・造」と書かれているとみられる。

蓋については、青みの強い呉須の色彩（いわゆる「ペロ藍」）などから、製作年代は1850～1870年代と考えられる。なお、呉須による文様やつまみの作りが、但馬の出石焼に類似しているよう見て取れる。また、つまみはその形状から「犬」を模しているとみられる。

先に述べたように、この土瓶についてはその埋置状況などから、胞衣壺として用いられたこと想定されるものである。

筆者は、これまでに、日田市内で胞衣壺として用いられとみられる土瓶を数例見てきているが、そのいずれもが黒釉の土瓶であり、現在「小鹿田焼（おんたやき）」と呼ばれる日田市大字鶴河内字皿山で作られている陶器とみられるものであり、今回の土瓶のように染付のものは初見である。

また、この土瓶の身に乘せた別物の蓋に「犬」のつまみが付いていることは興味深い。

「犬」は、ペットや猟犬として親しまれてきたほかに、多産で、お産が軽い、仔犬がよく育つことから、安産祈願、子宝の象徴、子どもの成長祈願など、縁起物やお守りとして用いられ、尊ばれてきている。

胞衣、いわゆる胎盤を大切に扱う風習は全国で見られる。

その取り扱い方法は地域によって違いはみられるが、胞衣を生まれてきた赤ちゃんの分身と捉え、子どもの健やかな成長、子孫繁栄などの思いを込めて埋置するといった事例は、全国的にみられるものである。

この城下町遺跡にて確認された土瓶は、その蓋に犬のつまみが有るものを用いている。前述のように、「犬」に求め、込められた、人の“思い”や“願い”は、胞衣埋納風習にも通ずるものがあると考えられる。この土瓶の身に違う焼き物の蓋を用いた背景には、こういった人の思いがあるのかもしれない。

なお、この土瓶のサイズについては、下記のとおりである。

【身】高さ 11.4 cm 口径 10.7 cm 胴部最大径 16.7 cm 注ぎ口を含めた長さ 20.0 cm 底径 9.4 cm

【蓋】高さ 3.8 cm 幅（受け部径） 11.2 cm 口径 9.0 cm

【蓋を乗せた状態】高さ 14.1 cm

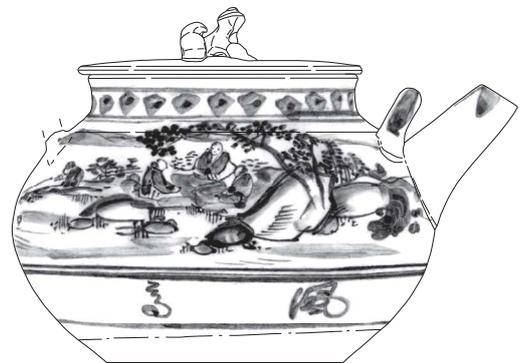
【謝辞】

土瓶の年代については大分県立歴史博物館企画普及課課長の吉田寛氏に、土瓶の身に書かれた文字については咸宜園教育研究センターの古文書サポーターの皆さん（高倉幸子・十時イミ・錦英幸・橋本千和子・藤波則子）にご教授いただきました。

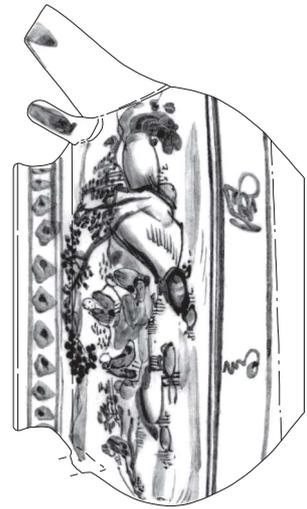
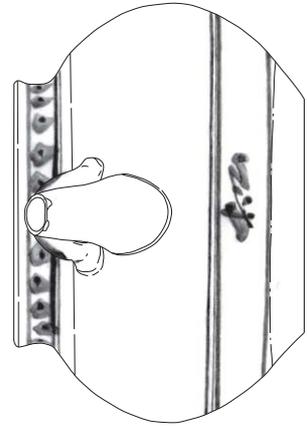
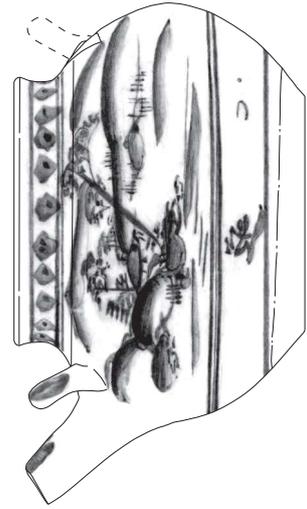
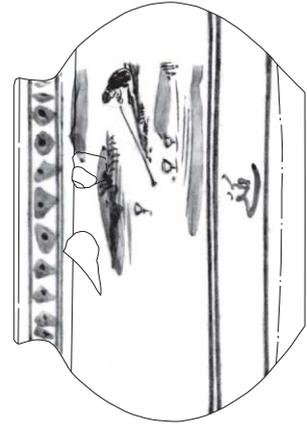
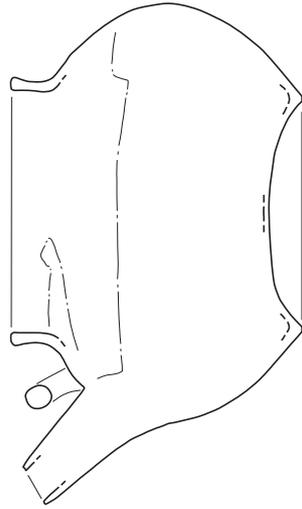
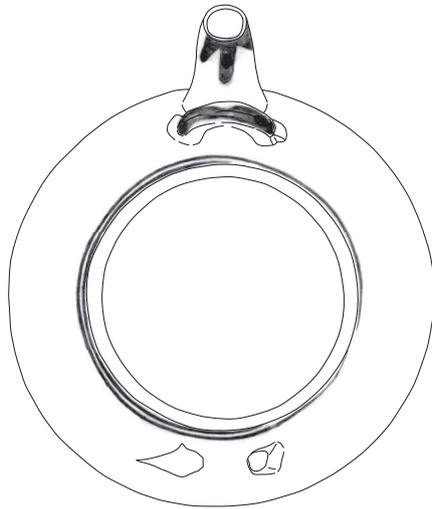
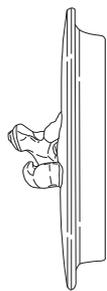
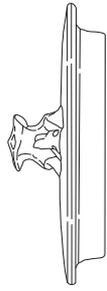
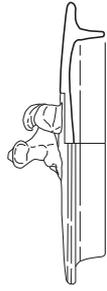
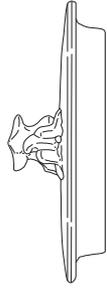
（今田）



土瓶確認状況（その2）



確認された土瓶（1/3）



確認された土瓶実測図 (1/3)





確認された土瓶写真



吹上遺跡 12次調査地遠景

南西上空より調査地を望む
(大分県日田市大字小迫)

写真中央の送電線鉄塔の下に調査地がある

吹上遺跡の存在する台地の北西隣りの台地(写真の奥)上には小迫辻原遺跡が存在している



吹上遺跡 12次調査地全景 (西方上空より)

平成 31 年度(2019 年度)

日田市埋蔵文化財年報

発行日 令和 3 年 3 月 2 5 日
 編集・発行 日田市教育委員会
 日田市教育庁文化財保護課
 〒877-8601
 大分県日田市田島 2 丁目 6 - 1
 TEL 0973-23-3111
 印刷 尾花印刷有限公司
 大分県日田市田島本町 8 - 8